

令和5年度

蕨戸田衛生センター組合財務書類

蕨戸田衛生センター組合

目 次

財務書類の公表にあたって	1
<hr/>	
1. 蕨戸田衛生センター組合財務書類4表について	
<hr/>	
I. 統一的な基準の特徴	1
II. 対象とする会計の範囲	1
III. 作成基準日	1
IV. 財務書類4表の種類	1
<hr/>	
2. 蕨戸田衛生センター組合会計	
<hr/>	
I. 貸借対照表	2
II. 行政コスト計算書	3
III. 純資産変動計算書	4
IV. 資金収支計算書	5
V. 附属明細書	6
1. 貸借対照表の内容に関する明細	6
(1) 資産項目の明細	6
(2) 負債項目の明細	10
2. 行政コスト計算書の内容に関する明細	12
(1) 補助金等の明細	12
3. 純資産変動計算書の内容に関する明細	13
(1) 財源の明細	13
(2) 財源情報の明細	13
4. 資金収支計算書の内容に関する明細	13
(1) 資金の明細	13
VI. 注記	14
1. 重要な会計方針	14
2. 重要な会計方針の変更等	15
3. 重要な後発事象	15
4. 偶発債務	15
5. 追加情報	15

財務書類の公表にあたって

蕨戸田衛生センター組合では、「地方公共団体の総合的な財政分析に関する報告書（平成12年3月総務省）」に基づき、平成18年度決算からバランスシートを作成してきました。平成18年6月に成立した「行政改革推進法」により、地方の資産・債務改革の一環として新地方公会計制度の整備が位置付けされ、「新地方公会計制度研究会報告書（平成18年5月総務省）」で示された作成基準により、財務書類を整備することとなりました。

組合を構成する蕨市及び戸田市の連結対象団体として、平成27年度決算まで両市がそれぞれ採用した「総務省方式改訂モデル」（蕨市）及び「基準モデル」（戸田市）に基づく財務書類を作成し、「基準モデル」による財務書類を組合の財務書類として公表してきたところです。

財務書類の作成方式には、複数の方式が混在しており団体間での比較可能性が確保されていないことなどから、総務省は、平成27年1月に「統一的な基準による地方公会計の整備促進について（総務大臣通知）」を示し、今後すべての地方公共団体が『統一的な基準』による財務書類を作成するよう要請しました。

蕨戸田衛生センター組合はこのことを受け、平成28年度決算より『統一的な基準』に基づく財務書類を作成することとしました。財務書類については、これまでも作成し、資産及び負債の管理や、組合の財務状況の公表資料として活用してきましたが、今後は統一的な基準による財務書類の最大のメリットである比較可能性に注目し、更なる活用をしていきたいと考えています。

1. 蕨戸田衛生センター組合財務書類4表について

I. 統一的な基準の特徴

企業会計と同様の複式簿記や発生主義会計を導入するとともに、保有する全ての固定資産について、固定資産台帳を整備することで、現金取引（歳入・歳出）に加えて、ストック情報（資産・負債・純資産の期末残高）及びフロー情報（期中の収益・費用及び純資産の内部構成の変動）を網羅的かつ公正価値で把握できます。また、全国統一の基準であるため、各団体間での比較可能性が確保されます。

II. 対象とする会計の範囲

蕨戸田衛生センター組合会計について作成しています。

III. 作成基準日

作成基準日は、会計年度の最終日である令和6年3月31日です。令和6年4月1日から令和6年5月31日までの出納整理期間（※注記5. ①参照）の収支については、基準日に終了したものと取り扱っています。

IV. 財務書類4表の種類

1. 貸借対照表

基準日時点で組合が保有する資産、負債（将来世代の負担）、純資産（過去の世代の負担、国や県の負担）を表示したものです。

2. 行政コスト計算書

1年間の行政運営コストのうち、資産の形成につながらない行政サービスに費やしたコストと、行政サービスの提供に伴う収益を表示したものです。

3. 純資産変動計算書

純資産が、1年間でどのように増減したか、表示しています。

4. 資金収支計算書

1年間の資金の増減を、活動目的別に表示しています。

I.貸借対照表

(令和 6年 3月31日現在)

【様式第1号】

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	10,198,003	固定負債	1,551,968
有形固定資産	8,583,888	地方債	1,487,856
事業用資産	8,568,758	長期未払金	0
土地	4,248,068	退職手当引当金	64,112
立木竹	0	損失補償等引当金	0
建物	3,599,270	その他	0
建物減価償却累計額	△ 2,976,239	流動負債	262,448
工作物	643,329	1年内償還予定地方債	248,393
工作物減価償却累計額	△ 504,106	未払金	0
船舶	0	未払費用	0
船舶減価償却累計額	0	前受金	0
浮標等	0	前受収益	0
浮標等減価償却累計額	0	賞与等引当金	13,168
航空機	0	預り金	887
航空機減価償却累計額	0	その他	0
その他	10,982,804		
その他減価償却累計額	△ 7,424,973	負債合計	1,814,416
建設仮勘定	605	【純資産の部】	
インフラ資産	0	固定資産等形成分	10,198,003
土地	0	余剰分(不足分)	△ 1,641,792
建物	0		
建物減価償却累計額	0		
工作物	0		
工作物減価償却累計額	0		
その他	0		
その他減価償却累計額	0		
建設仮勘定	0		
物品	100,259		
物品減価償却累計額	△ 85,129		
無形固定資産	1,793		
ソフトウェア	1,793		
その他	0		
投資その他の資産	1,612,322		
投資及び出資金	0		
有価証券	0		
出資金	0		
その他	0		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	0		
長期貸付金	0		
基金	1,612,322		
減債基金	0		
その他	1,612,322		
その他	0		
徴収不能引当金	0		
流動資産	172,624		
現金預金	172,624		
未収金	0		
短期貸付金	0		
基金	0		
財政調整基金	0		
減債基金	0		
棚卸資産	0		
その他	0		
徴収不能引当金	0		
資産合計	10,370,627	純資産合計	8,556,211
		負債及び純資産合計	10,370,627

Ⅱ.行政コスト計算書

【様式第2号】

自 令和 5年4月 1日
至 令和 6年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	2,250,203
業務費用	2,246,013
人件費	172,038
職員給与費	135,691
賞与等引当金繰入額	13,168
退職手当引当金繰入額	8,942
その他	14,237
物件費等	2,071,500
物件費	895,191
維持補修費	579,945
減価償却費	595,054
その他	1,310
その他の業務費用	2,475
支払利息	2,473
徴収不能引当金繰入額	0
その他	2
移転費用	4,190
補助金等	2,280
社会保障給付	1,446
他会計への繰出金	0
その他	464
経常収益	694,691
使用料及び手数料	420,201
その他	274,490
純経常行政コスト	1,555,512
臨時損失	0
災害復旧事業費	0
資産除売却損	0
投資損失引当金繰入額	0
損失補償等引当金繰入額	0
その他	0
臨時利益	1,449
資産売却益	1,449
その他	0
純行政コスト	1,554,063

Ⅲ.純資産変動計算書

【様式第3号】

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	
		固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	8,649,257	10,474,873	△ 1,825,616
純行政コスト(△)	1,554,063	-	1,554,063
財源	1,461,017	-	1,461,017
税金等	1,461,017	-	1,461,017
国県等補助金	0	-	0
本年度差額	△ 93,046	-	△ 93,046
固定資産等の変動(内部変動)	-	△ 276,870	276,870
有形固定資産等の増加	-	156,702	△ 156,702
有形固定資産等の減少	-	△ 595,054	595,054
貸付金・基金等の増加	-	161,482	△ 161,482
貸付金・基金等の減少	-	0	0
資産評価差額	0	0	-
無償所管換等	0	0	-
その他	0	0	-
本年度純資産変動額	△ 93,046	△ 276,870	183,824
本年度末純資産残高	8,556,211	10,198,003	△ 1,641,792

IV.資金収支計算書

【様式第4号】

自 令和 5年4月 1日

至 令和 6年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	1,650,045
業務費用支出	1,645,855
人件費支出	166,934
物件費等支出	1,476,448
支払利息支出	2,473
その他の支出	0
移転費用支出	4,190
補助金等支出	2,280
社会保障給付支出	1,446
他会計への繰出支出	0
その他の支出	464
業務収入	2,155,708
税込等収入	1,461,017
国県等補助金収入	0
使用料及び手数料収入	420,201
その他の収入	274,490
臨時支出	0
災害復旧事業費支出	0
その他の支出	0
臨時収入	0
業務活動収支 (a)	505,663
【投資活動収支】	
投資活動支出	318,184
公共施設等整備費支出	156,702
基金積立金支出	161,482
投資及び出資金支出	0
貸付金支出	0
その他の支出	0
投資活動収入	1,449
国県等補助金収入	0
基金取崩収入	0
貸付金元金回収収入	0
資産売却収入	1,449
その他の収入	0
投資活動収支 (b)	△ 316,735
【財務活動収支】	
財務活動支出	236,268
地方債償還支出	236,268
その他の支出	0
財務活動収入	0
地方債発行収入	0
その他の収入	0
財務活動収支 (c)	△ 236,268
本年度資金収支額 (a+b+c)	△ 47,340
前年度末資金残高	219,077
本年度末資金残高	171,737
前年度末歳計外現金残高	944
本年度歳計外現金増減額	△ 57
本年度末歳計外現金残高	887
本年度末現金預金残高	172,624

【様式第5号】

V. 附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:千円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末減価 償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末 残高(D)-(E) (G)
事業用資産	19,728,926	156,702	411,552	19,474,076	10,905,318	590,797	8,568,758
土地	4,248,068	0	0	4,248,068	0	0	4,248,068
立木竹	0	0	0	0	0	0	0
建物	3,591,018	8,252	0	3,599,270	2,976,239	89,498	623,031
工作物	643,329	0	0	643,329	504,106	16,515	139,223
船舶	0	0	0	0	0	0	0
浮標等	0	0	0	0	0	0	0
航空機	0	0	0	0	0	0	0
その他	11,246,511	147,845	411,552	10,982,804	7,424,973	484,784	3,557,831
建設仮勘定	0	605	0	605	0	0	605
インフラ資産	0	0	0	0	0	0	0
土地	0	0	0	0	0	0	0
建物	0	0	0	0	0	0	0
工作物	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	0	0	0	0
物品	100,259	0	0	100,259	85,129	3,809	15,130
合計	19,829,185	156,702	411,552	19,574,335	10,990,447	594,606	8,583,888

②有形固定資産の行政目的別明細

(単位:千円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	0	0	0	8,568,758	0	0	0	8,568,758
土地	0	0	0	4,248,068	0	0	0	4,248,068
立木竹	0	0	0	0	0	0	0	0
建物	0	0	0	623,031	0	0	0	623,031
工作物	0	0	0	139,223	0	0	0	139,223
船舶	0	0	0	0	0	0	0	0
浮標等	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	3,557,831	0	0	0	3,557,831
建設仮勘定	0	0	0	605	0	0	0	605
インフラ資産	0	0	0	0	0	0	0	0
土地	0	0	0	0	0	0	0	0
建物	0	0	0	0	0	0	0	0
工作物	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	0	0	0	0	0
物品	0	0	0	15,130	0	0	0	15,130
合計	0	0	0	8,583,888	0	0	0	8,583,888

③投資及び出資金の明細

市場価格のあるもの

(単位:千円)

銘柄名	株数・口数 (A)	時価単価 (B)	BS計上額 (A) × (B) = (C)	取得単価 (D)	取得原価 (A) × (D) = (E)	評価差額 (C) - (E) = (F)	（参考）財産 に関する調書 記載額
合計	0	0	0	0	0	0	0

市場価格のないものうち連結対象団体(会計)に対するもの

(単位:千円)

相手先名	出資金額 (BS計上額) (A)	資産 (B)	負債 (C)	純資産額 (B) - (C) = (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A) / (E) = (F)	実質価額 (D) × (F) = (G)	投資損失引 当金計上額 (H)	（参考）財産 に関する調書 記載額
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

市場価格のないものうち連結対象団体(会計)以外に対するもの

(単位:千円)

相手先名	出資金額 (A)	資産 (B)	負債 (C)	純資産額 (B) - (C) = (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A) / (E) = (F)	実質価額 (D) × (F) = (G)	強制評価減 (H)	BS計上額 (A) - (H) = (I)	（参考）財産 に関する調書 記載額
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④基金の明細

(単位:千円)

種類	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額
施設整備基金	1,612,322	0	0	0	1,612,322	
合計	1,612,322	0	0	0	1,612,322	

⑤貸付金の明細

(単位:千円)

相手先名または種別	長期貸付金		短期貸付金		(参考) 貸付金計
	貸借対照表 計上額	徴収不能引当金 計上額	貸借対照表 計上額	徴収不能引当金 計上額	
合計	0	0	0	0	0

- 9 -

⑥長期延滞債権の明細

(単位:千円)

相手先名または種別	貸借対照表 計上額	徴収不能引当金 計上額
【貸付金】		
小計	0	0
【未収金】		
小計	0	0
合計	0	0

⑦未収金の明細

(単位:千円)

相手先名または種別	貸借対照表 計上額	徴収不能引当金 計上額
【貸付金】		
小計	0	0
【未収金】		
小計	0	0
合計	0	0

(2) 負債項目の明細

① 地方債(借入先別)の明細

(単位:千円)

種類	地方債残高		政府資金	地方公共団体金融機構	市中銀行	その他の金融機関	市場公募債		その他
		うち1年内償還予定					うち共同発行債	うち住民公募債	
【通常分】	1,736,249	248,393	380,657	0	1,355,592	0	0	0	0
一般公共事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公営住宅建設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害復旧	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・福祉施設	1,736,249	248,393	380,657	0	1,355,592	0	0	0	0
一般単独事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【特別分】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時財政対策債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減税補てん債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職手当債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,736,249	248,393	380,657	0	1,355,592	0	0	0	0

②地方債(利率別)の明細

(単位:千円)

地方債残高	1.5%以下	1.5%超 2.0%以下	2.0%超 2.5%以下	2.5%超 3.0%以下	3.0%超 3.5%以下	3.5%超 4.0%以下	4.0%超	(参考) 加重平均利率
1,736,249	1,736,249	-	-	-	-	-	-	-

③地方債(返済期間別)の明細

(単位:千円)

地方債残高	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 15年以内	15年超 20年以内	20年超
1,736,249	248,393	248,709	249,027	249,344	249,662	491,114	-	-	-

④特定の契約条項が付された地方債の概要

(単位:千円)

特定の契約条項が 付された地方債残高	契約条項の概要
0	

⑤引当金の明細

(単位:千円)

区分	前年度末 残高	本年度 増加額	本年度減少額		本年度末 残高
			目的使用	その他	
賞与等引当金	11,646	13,168	11,646	0	13,168
退職手当引当金	60,530	8,942	5,360	0	64,112
合計	72,176	22,110	17,006	0	77,280

2. 行政コスト計算書の内容に関する明細

(1) 補助金等の明細

(単位: 千円)

区分	名称	相手先	金額	支出目的	
他団体への公共施設等整備補助金等 (所有外資産分)	計		0		
	負担金	ボイラータービン主任技術者会	42	ボイラータービンに関する知識・技術交流	
	負担金	電気主任技術者会	36	電気設備に関する知識・技術交流	
	シヨベルローダー等運転技能講習受講料	(株)ジャパンクリエイト	75	講習の受講	
	フォークリフト運転技能講習受講料	コマツ教習所(株)埼玉センタ	33	講習の受講	
	ISO内部環境監査員養成研修受講料	(株)品質保証総合研究所	49	ISO14001内部環境監査員の養成のため	
	職員厚生費	蔵戸田衛生センター協定会	48	職員の厚生	
	環境保全協助力金	山形県米沢市	1,884	一般廃棄物最終処分場への搬入のため	
	環境保全協助力金	茨城県北茨城市	1	市内への一般廃棄物の搬入のため	
	環境保全協助力金	茨城県鹿嶋市	98	市内への一般廃棄物の搬入のため	
	無線機電波利用料	関東総合通信局	5	電波利用のため	
	戸田市防火安全協会年会費	戸田市防火安全協会	9	地域の防火管理強化、防火思想の普及啓発	
	計		2,280		
合計			2,280		

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細 (単位: 千円)

会計	区分	財源の内容	金額	
一般会計	税収等	組合分担金	1,301,017	
		施設整備基金分担金	160,000	
		小計	1,461,017	
	国県等補助金	資本的補助金	計	0
		経常的補助金	計	0
		小計	0	
		合計	1,461,017	

4. 資金収支計算書の内容に関する明細

(1) 資金の明細 (単位: 千円)

種類	本年度末残高
現金	0
要求払預金	172,624
短期投資	0
合計	172,624

(2) 財源情報の明細

(単位: 千円)

区分	金額	内訳			
		国県等補助金	地方債	税収等	その他
純行政コスト	1,554,063	0	0	1,301,017	253,046
有形固定資産等の増加	156,702	0	0	0	156,702
貸付金・基金等の増加	161,482	0	0	160,000	1,482
その他	0	0	0	0	0
合計	1,872,247	0	0	1,461,017	411,230

VI. 注記

1. 重要な会計方針

① 有形固定資産の評価基準及び評価方法

資産評価及び固定資産台帳整備の手引き〔平成27年1月総務省〕に定める評価基準及び評価方法によります。

② 有価証券等の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的有価証券

償却原価法によります。

(2) 満期保有目的以外の有価証券

市場価格のあるものについては、年度末日の市場価格に基づく時価法により、市場価格のないものについては、取得原価による移動平均法によります。

③ 有形固定資産等の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（事業用資産、インフラ資産、物品）

定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

④ 引当金の計上基準及び算定方法

(1) 徴収不能引当金

徴収不能が見込まれる債権の年度末評価額に、過去3年以内の平均不納欠損率を乗じた額を計上しています。

(2) 賞与等引当金

翌年度6月支給又支給予定の期末・勤勉手当のうち、全支給対象期間に対する本年度の支給対象期間の割合を乗じた額を計上しています。

(3) 退職手当引当金

本年度末に特別職を含まない全職員（本年度末退職者を除く）が普通退職した場合の退職手当の支給額を計上しています。

⑤ リース取引の処理方法

(1) 所有権移転ファイナンス・リース取引

(a) 重要性の乏しいもの

通常の賃貸借取引に係る方法（費用として行政コスト計算書に計上）に準じて会計処理しています。

(b) それ以外のもの

通常の売買取引に係る方法（固定資産に該当するものは貸借対照表に計上）に準じて会計処理しています。

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引、オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理しています。

⑥ 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金、要求払預金）及び現金同等物（3か月以内の短期投資、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払を含む。）を、資金の範囲としています。

⑦ 消費税等の会計処理

税込方式としています。

⑧ 財務書類の表示金額単位

記載金額は、特に表示のないものを除いて千円単位としています。

2. 重要な会計方針の変更等

重要な会計方針の変更はありません。

3. 重要な後発事象

該当する事象はありません。

4. 偶発債務

該当する債務はありません。

5. 追加情報

① 財務書類の内容を理解するため必要と認められる事項

(1) 出納整理期間について

地方自治法第235条の5の規定「普通地方公共団体の出納は、翌年度の5月31日をもって閉鎖する。」に基づき、対象会計年度末までに確定した債権債務について、現金の未収未払の整理を行うための期間（出納整理期間）を設けています。出納整理期間中に整理された債権債務については、対象会計年度末までに処理されたものとして取扱っています。

(2) 地方公共団体財政健全化法における健全化判断比率の状況

地方公共団体財政健全化法の定める地方公共団体に一部事務組合は含まれていません。組合の構成団体である蕨市及び戸田市の連結対象となっています。

(3) 繰越事業に係る将来の支出予定額

該当する事業はありません。

② 貸借対照表に係る事項

(1) 売却可能資産に係る資産科目別の金額及びその範囲

該当する資産はありません。

(2) 将来負担に関する情報

一般会計等地方債現在高	1,736,249 千円
債務負担行為に基づく支出予定額	0 千円
一般会計等から他会計への地方債償還充当繰入額	0 千円
退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額	64,112 千円
組合等の連結実質赤字額相当額のうち一般会計等負担見込額	0 千円

(3) 長期継続契約で貸借対照表に計上されたリース債務金額

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは、次の金額です。

短期リース債務	0 千円
長期リース債務	0 千円

③ 行政コスト計算書に係る事項

該当はありません。

④ 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

(1) 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

(2) 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

⑤ 資金収支計算書に係るもの

(1) 基礎的財政収支

税収・税外収入と地方債の元本返済や利子の支払いに充てられる費用を除く歳出との収支を表します。

歳入総額 (a)	2,376,234 千円
公債発行収入 (b)	0 千円
繰越金 (c)	219,077 千円
歳出総額 (d)	2,204,497 千円
地方債元利償還額 (e)	236,268 千円
基礎的財政収支 (f) { (a-b-c) - (d-e) }	188,928 千円

(2) 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

業務活動収支	505,663 千円
投資活動収支の国県等補助金収入	0 千円
減価償却費	△595,054 千円
資産除売却損	0 千円
資産売却益	1,449 千円
賞与等引当金繰入額	△13,168 千円
賞与等引当金取崩額	11,646 千円
退職手当引当金繰入額	△8,942 千円
退職手当引当金取崩額	5,360 千円
不納欠損額	0 千円
その他臨時利益	0 千円
その他臨時損失	0 千円
純資産変動計算書の本年度差額	△93,046 千円

(3) 一時借入金の限度額及び利子の金額

一時借入金はありません。